

6/25 朝日

核廃絶へ「基礎となる一步」

核禁条約会議宣言し閉幕

ウイーンで開かれていた核兵器禁止条約の第1回締約国会議が23日、閉幕した。政治宣誓で核廃絶への決意を改めて表明し、「行は理あつたらない。▼3面の国・地域が参加した。

動計画」に具体的な施策を盛り込むなど一定の成果を示したが、核保有国や「核の傘」と観る国が「真剣な措置をとらじこない」と断じた。核兵器の非人道性を改めて強調し、条約を批准していくないオブザーバー国を含む34の国・地域が参加した。

=溝深くとも、12面=社説、31面=若者は動く

83 34

会議では50項目の「行動計画」も採択。核保有国が参加する核不拡散条約(NPT)との協力分野を探る相手を聞く」とも決める

な」具体的な一步を踏み出しだ。だが、核保有国はいづれも核禁条約に否定的大だ。今回、北大西洋条約機構(NATO)加盟国で

の議論をいかにつけられたが課題だ。核禁条約の第2回締約国会議は来年11月12月、リヨンで開かれる。

(ウイーン)=藤原学思・高久潤

恩はないことを明確にした。日本はオブザーバーとしての参加も見送った。

いつした国々はNPTの

それが核軍縮・不拡散を議論する場だと主張しており、

6/25 朝日

核廃絶 深くても



核兵器禁止条約の第一回締約国会議で文書の採択が終わる、拍手する参加者たち

ウイーンで開かれていた核兵器禁止条約の初の締約国会議が23日に閉幕し、核廃絶への意を改めて明確にした。ロシアのウクライナ侵攻で核抑止をめぐる議論が高まるなか、その道筋は容易ではないが、被爆者からは会議の成果を評価する声が聞かれた。

23日夕、核廃絶に向けた決意を記した44・16項目の政治宣言「核兵器のない世界への我々のコラボレーション」が採択された。ひとりひとり立ち上がり、手をたたいた。

核兵器を使う、持つ、つ

の中溝泉・国連事務次長は、「当初は、最終的に来た困難の半分以下だと見積もっていた」と歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全面的に禁じる条約に入る」とが本国の安全保障に寄与するのか、核保有国や「核の傘」にある国はどちらかの見方と異なる。

日本政府はオブザーバーとして、『現実を変えるため』は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

核禁止条約会議

2017年、国連の会議で採択され、これまでの国・地域が批准した。今回の会議ではオブザーバーを含む83カ国・地域が参加したが、国連軍縮部トップ

の日本政府はオブザーバーとして、『現実を変えるため』は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

「保有国 時間かけ巻き込む」

日本の首相として初めて出席する。核保有国も参加する会議で、非保有国との「橋渡し役」として存在感を示したい考えだ。

ただ、政府の言う「核保

約にはいずれの核保有国も含まれず、現実的とも効果的とも思えない」。同国はロシトによるウクライナ侵攻後、米欧の軍事同盟である北大西洋条約機構(NATO)に加盟申請した。

隣たちは大きい。それで、核保有国をいかに巻き込むかについて、「時間」をかけ、議論の論点を通じて、「時間」を効かなければ一年半ほどしか経過しないと想定する。一方で、「時間」をかけ、議論の論点を通じて、「時間」を効かなければ一年半ほどしか経過しないと想定する。一方で、「時間」をかけ、議論の論点を通じて、「時間」を効かなければ一年半ほどしか経過しないと想定する。

（ウイーン＝藤原学麻高久譲）

日本不参加 再考せず

被爆者意見

日本政府はオブザーバーとして、『現実を変えるため』は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

軍縮にどう貢献 厳しい日

日本の防衛に賛同する立派な宣傳機関)を説明する。

（ウイーン＝藤原学麻高久譲）

日本の首相として初めて出席する。核保有国も参加する会議で、非保有国との「橋渡し役」として存在感を示したいと考えだ。

ただ、政府の言う「核保約にはいずれの核保有国も含まれず、現実的とも効果的とも思えない」。同国はロシトによるウクライナ侵攻後、米欧の軍事同盟である北大西洋条約機構(NATO)に加盟申請した。

隣たちは大きい。それで、核保有国をいかに巻き込むかについて、「時間」をかけ、議論の論点を通じて、「時間」を効かなければ一年半ほどしか経過しないと想定する。一方で、「時間」をかけ、議論の論点を通じて、「時間」を効かなければ一年半ほどしか経過しないと想定する。

（ウイーン＝藤原学麻高久譲）

「オブザーバー参加 評価」

「日本の主張に論拠なし」

核兵器禁止条約の締約国会議には日本、長崎市長や被爆者の朝原芳左郎さんらが参加した。成果をより一歩踏み出したことは前回の会議が果たして核兵器の廃絶に向けた道徳的認識を共有し、廢絶成功だった。長崎の被爆者で医師の朝原芳左郎さん(79)は超えた。評議するのではなくて、核兵器の廃絶に向けた道徳的認識を共有した。多くの人は「核兵器のない世界をめざす」という姿勢を示し、この人がこれまで再検討会議にも参加した。多くは「核兵器のない世界をめざす」という姿勢を示すようになりたい」と話す。田上第久・長崎市長も「今後は回復の足がかりにならなかった」。オブザーバー参加国は「一耳は同じだが、おれいの主張に論拠なし」と指摘した。

日本政府が重視するのが、8月に米ニューヨークの国連本部で開かれる核不拡散条約(NDT)の再検討会議だ。岸田文雄首相が「わざわざいる種類の能力」で「オブザーバーとして参加したスウェーデンは、会議バイブルの大統領は「核を舍てた」ことを肯定しかねないと

核軍縮問題に詳しい秋山信博・一橋大教授の話多岐に亘るが、被爆者や行進計画で自分たちの

日本政府はオブザーバーとして、『現実を変えるため』は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全

て、「現実を変えるため」は核兵器国との協力が必要だといふと歓迎した。だが、重い課題が横たわる。核を持つ米・中英仏などが相手にしていないことだ。核廃絶を実現したい願意はあっても、核兵器を全